

Q 2 道德教育の目標にある「道德性」とは何ですか。

ーポイント2ー

- 人格の基盤をなすもの
- 道德性の諸要素は、道德的心情、道德的判断力、道德的实践意欲、道德的态度 など
- 子どもの道德性を見るには、行為行動だけでなく、内面の育ちを見ることが大切

道德教育の目標は、道德性を育成することであり、道德性を構成する諸要素である、道德的心情、道德的判断力、道德的实践意欲、道德的态度については、第1章で述べています。また、学習指導要領解説（小中学校ともP28）も参照してください。

ここでは、別の側面から道德性を考えてみます。

学習指導要領解説には、道德性について、次のように示されています。

- 道德性とは、人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道德的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものである。
- 道德性は、人間らしいよさであり、道德的諸価値が一人一人の内面において統合されたものといえる。
- 道德性は、人間が人間として共によりよく生きていく上で、最も大切にしなければならないものである。

（小・中学校学習指導要領解説P16～17）

抽象的な言い方になっていますが、よく見ると、道德性の具体が見えてきます。例えば、「人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道德的行為を可能にする」の部分から、子どもの行為が道德的であるか否かは、人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされているかどうかを見なければならぬということになります。

子どもの道德性を見るポイント

- ① できるだけ子どもの日常の生活や行為行動の具体に置き換えて考える
- ② 目に見える行為行動だけでなく、その動機や願いなど内面の育ちがどうであるかを見る

子どもはみんな、よりよく生きようとする力をもっていることを信じ、子ども自身がそれを伸ばしていこうとする意欲を育てていきたいと思います。